

調理道具

017-036

せいろ

037-045

鍋・コンロ

046-065

そば・うどん

066-075

竹製品

076-097

金彩・銀彩

098-101

弁当

102-127

飯器・椀

128-132

料理箱・皿

133-156

盛込

157-179

ビュッフェ

180-188

小鉢・珍味入

189-217

椀・酒の器

218-223

演出小物

224-255

紙製品

256-327

卓上用品

328-358

什器・備品

359-437

サイン

438-460

浴場用品

461-467

説明・注意

468-470

品名検索

471-480

番号検索

481-490

■ 塗装商品 (ウレタン/漆)



- 製造直後の塗装商品には特有の臭いがあり、抜けるのに時間を要します。特に温かいものを盛り付けた場合、気になることがあります。短時間で完全に塗装の臭いを取りのぞく技術はありません。桶の場合は、60～70℃のお湯を桶に注ぎ、軽かき回してすぐに捨てる作業を何度か繰り返すことで若干の緩和がみられます。
- ご使用後は水又はお湯でさっと洗い、すみやかに水気を柔らかい布でふき取るようにしてください。長い時間水に浸すと木の老化を早め変形、変色の原因となります。
- 洗った後は、充分乾かしてから片付けてください。生乾きはカビの原因になります。
- 乾かすときは日陰干しにしてください。直射日光に当てると、反ったり割れたりする恐れがあります。
- たわし、アルカリ洗剤、みがき粉等の使用は避けてください。変色、剥離(はくり)の原因になります。
- 漆塗り商品の場合体質によりごくまれに漆でかぶれる事があります。ご注意ください。
- 洗浄機は使用しないでください。破損、塗装の剥離等の原因になります。
- 商品は丁寧にお取扱ってください。塗装の剥離はカビの発生の原因となります。

大型商品

■ 屋台等組立商品



- テーブル、カウンターなどに乗って作業をしないでください。軽量構造のため、破損、転倒の恐れがあります。
- テーブル、カウンターはメラミン化粧板を使用しておりますので、直火など高熱になりますと変形する恐れがあります。
- 移動する場合は両側をお持ちください。

■ 什器・備品

- 傾斜面や段差のあるところには設置しないでください。
- 折りたたみ式の製品については、開閉時に指をはさまないように注意し、完全に広げてからご使用ください。
- 可動部の隙間に手や指を入れしないでください。けがをするおそれがあります。
- ご使用前にボルト・ネジが完全に取り付けられていることをご確認ください。ボルトやネジがゆるんだまま使用しないでください。本体が破損してけがをすることがあります。
- 商品の移動にあたっては引きずっての移動はしないでください。破損したり、転倒してけがをしたり、床を傷つけたりすることがあります。(キャスター付商品を除く)

固型燃料



1 保管方法

- 保管は冷暗所に置き、直射日光のあたる所、火気の近く、高温になる所は絶対に避けてください。

2 使用上の注意

- 着火したら最後まで燃やしてください。
- 吹いて消すことは絶対にしないでください。
- 燃焼中のつぎ足しは危険です。
- まちがえて口に入れたり、食べてしまった時は、吐き出させ多量の水を飲ませ医師に連絡してください。
- 燃焼中に刺激臭が発生した場合は、室内の酸素が不足しています。窓を開け室内の換気をよくしてください。

ガラス製品



- ガラスは製造上、多少の気泡や流れ模様、ひずみが入る場合があります。また、透明度、厚み、色むら等ばらつきがある場合があります。
- 使用始めは、中性洗剤などで洗浄してください。
- 食器洗浄機は使用できません。手洗いしてください。
- 洗浄時に、研磨剤スポンジ・金たわしなどを使用しますとキズや破損の原因になりますので使用しないでください。
- キズがつくと破損しやすくなります。キズ、カケ等の異常がある場合は使用しないでください。
- 急激な温度差での使用は避けてください。(急激な温度変化で割れることがあります)
- 局所的に衝撃をかけないでください。破損の恐れがあります。
- 耐熱ガラスではありません。電子レンジ、オーブン、直火などの使用はしないでください。
- 長時間水を入れたままにしますと水垢などがこびりつき落ちにくくなりますので適宜に洗ってください。

知的所有権・著作権に関する注意事項

このカタログに掲載されている自社開発オリジナル製品につきましては、すでに特許権、意匠権等の知的所有権を有しているものがあります。不正競争防止法に基づき保護されております。又、このカタログの一部あるいは全部を無断で転載・複製(コピー)することは著作権上の例外を除き禁じられております。